

戦後、日本の復興と繁栄に大きな足跡を残した三洋電機株式会社の創設者、故井植歳男氏の遺志によって昭和四十四年十一月に設立された財団法人「井植記念会」が、兵庫県在住または兵庫県にゆかりの深い人のなかから、めざましい活躍をされた人を受賞の対象としてその功績を讃えるとともに、地域社会のより一層の発展に寄与したいと考え、この「井植文化賞」五部門を設定しました。今回で第6回を数え、各分野の評論家、学識経験者などをもって部門ごとに構成される選考委員会によって次のように決定しました。

●第6回

井植文化賞

文化芸術部門



田原 富子
(ピアニスト)

科学技術部門



安藤 四一
(神戸大学工学部助教授)

地域活動部門



月刊神戸つ子
代表・小泉康夫編集長

報道出版部門



日本経済新聞社神戸支社
“神戸の中堅150社”
代表・中西平四郎支社長

社会福祉部門



神戸大学看護ボランティア
リーダー・高林澄子

報道出版部門



ラジオ関西「兵庫県高齢者
放送大学ラジオ講座」
代表・阪上豊社長

昭和18年神戸生まれ。東京藝術大学附属高校から同大学を経て、同大学院修了。横井和子、安川加寿子に師事。数多くの協奏、リサイタルなどを経験。多彩なレパートリーをもつたピアニストとしても知られる。月刊神戸つ子第1回ブルーメール賞、神戸市文化奨励賞、大阪府民劇場奨励賞などを受賞。

昭和14年東京生まれ。神戸大学工学部技術員、同助手を経て54年同助教授。その後ディレクションゲン大学研究員として音響工学を研究。現在、日本音響学会正会員、Acoustic Sound and Vibration 研究委員、赤穂市環境調査学術委員などをつとめる。

昭和36年創刊。地域の文化を活性化させるため、雑誌発刊を基軸として活動を展開している。ブルーメール賞、神戸文学賞・神戸女性文化賞の設定のほか、KFMの結成、KFS事務局としても活動。フジン都市、コンベンション都市づくりへの市民サイドからオビニオンリーダー的な存在でもある。

昭和43年に2看護婦でスタート。在宅の独居障害老人たちに専門看護技術を生かして訪問看護を継続。現在、14人の看護婦が老人6人障害者2人を介護。当初はリハビリテーション中心だったが、現在は主婦グループの神戸会とタッグアッパーして入浴・清掃・食事準備なども行なっている。県くすのき賞受賞。

昭和52年4月、(財)兵庫県高齢者生きがい創造協会(理事長・坂井時忠・兵庫県知事)が運営する高齢者放送大学のラジオ講義として発足した。本年度の学生数は1310名。高齢化社会が進む中で、老人を対象としたラジオによる生涯教育として評価が高い。昭和55年度の放送文化基金から表彰を受けている。

第6回井植文化賞文化芸術部門

音楽性と強烈な個性

田原 富子

選考委員

吉村 一夫
柴田 仁
小石 忠男

〈音楽評論家〉

〈音楽評論家〉

〈音楽評論家〉



プラハ弦楽四重奏団との協演(1982.2.9)

田原富子さんは東京芸大の大学院を修了したが、学生時代を除いては神戸生れの神戸育ち、いまも神戸在住で関西を中心に活躍している。その気さくで明朗な人柄が愛されるためか、若い演奏家に信頼が厚く、独奏、室内楽、協奏曲、伴奏の各分野で広く活動している。譜面を読むのがはやく、仕事が確実ということで、当然、演奏依頼も多い。学生の頃から演奏しているが、ここ十年間を見ても百数十回の出演回数を数える。関西で彼女ほど多忙なピアニストは、ほかにないと思うが、たんに回数が多いというだけでなく、この数年来、数回のリサイタルや協奏曲、そしてプラハ四重奏団をはじめとする来日演奏家との協演で、

輝かしい成果を收め、中堅ピアニストとして、いよいよ成熟の境地にはいったことが感じられる。

もう息のつく限りピアノを弾きたいという彼女は、まだ将来に賭けることも多く、きき手の側としても期待が大きいが、それでも従来の豊富な実績は、いくら高く評価してもしすぎるはない。演奏家のなかでもピアニストはふしげと協調性がなく、自然に狭いわくのなかに閉じ込もりがちだが、彼女にはめずらしくそうしたことがなく、積極的に多様な仕事を手がけてきた。神戸とは限らず、全国的に考へても稀に見る実力派であり、今回の受賞はあまりにも当然だと思う。今後の一層の活躍を願う。

△小石忠男△

た。

文化芸術部門は、今回は音楽部門から選出されることになり、まず始めにリストアップされた候補者は、ピアニストの田原富子、声樂の井上和世、樋本栄、三室堯、合唱の神戸中央合唱団作曲の中村茂隆、徳永秀則、たにしの会、それに日本テレマン協会、ダンスリールネッサンスら。

そのなかから、すでに定評のある演奏活動を繰り広げている神戸中央合唱団と日本テレマン協会。最近安定した活躍をみせるメゾソopranoの井上和世、ピアニストの田原富子に絞って検討された。

特に井上和世は、パリ国立音楽院卒業後帰国し、ソリストとしての活動を重ね、数多くのリサイタルでも成功を收めて、受賞の有力候補といえる存在。神戸中央合唱団と日本テレマン協会は、それぞれの受賞歴や、常に高く評価される活動のなかで、特に目立った点がないことから見送り。

一方、ピアニストの田原富子においては、際立った技術に裏打ちされた音楽性と強烈な個性、多様なレパートリーを持ったピアニストとしての評価、そして永年にわたる演奏活動のなかで、常に裏切られることのない安定性をもつてのことから、田原富子に決定した。

●選考経過

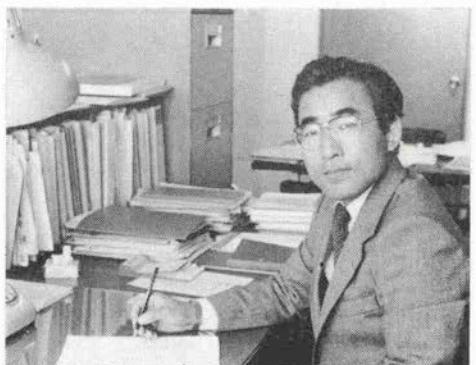
選考の初めに、科学において残されている分野は、人間に関わりのある分野であり、また遺伝子工学など生命科学としてのアプローチも進んできている等、現代科学技術の大きな方向が人間に向かっていることが指摘され、結局、科学は人間のことを考えて、人間のためになければならないということが確認された。

農学関係から名前があがつたのは有機農業の保田茂。農の原点として、現代にない哲学を持ちこんだもので特筆されるべきものとされた。つぎに医学と工学を結びつけた画像処理の藤井進。工学的手法として将来的にも有望である。そして音の研究をしている安藤四一。安藤は、コンサートホールや音響学という分野とともに、昭和43年より、騒音が人間に対してどのような影響を及ぼすか、特に胎児に対して及ぼす影響を研究。まったくの新分野で顕著な成果をあげた。

有機農業はまだ学問的評価が定まらないということで、藤井と安藤が残ったが、新しいジャンルを地道な努力で開拓した点や、学界や海外での評価、さらに賞の性格上、地域社会への関わり、貢献として、その音場を聴覚心理的に評価しようというもので、ドイツ滞

第6回井植文化賞科学技術部門 音響学の新分野を開拓 安藤 四一

選考委員
選三 誠
岩西 寛
羅松 隆一
鍋本 正志
真鍋 隆一
正志
〈神戸大学医学部長〉
〈神戸大学農学部長〉
〈神戸大学工学部長〉
〈神戸新聞社論説室参与〉



研究室における安藤四一助教授

神戸大学工学部助教授安藤四一博士は、神戸大学工学部において長年建築音響学について研究を行つてこられた。音響学は建築学の分野では近年とくに重要な分野とされましたが、氏はこれを人とのかかわりの中で見直すという新しい分野を開拓された。その一は室内音響の心理的評価と最適設計である。従来は人間の聴覚を介して心理的に優れた音場はどういうものかがわからず、オーディトリウムを建設しても失敗に終つた例が多々あつた。氏の研究は、壁からの音の反射を理論的に、また実験的に調べてその結果を使って、電算機によるシミュレーションをして、その音場を聴覚心理的に評価しようというもので、ドイツ滞

在中の研究も日本人とドイツ人の音の好みについて、その共通性を明らかにされたものだ。この手法により音響学的見地よりの設計基準を明らかにされ、県下では神戸国際交流会館メインホールや宝塚市ベガホールなどがこの方法により設計された。

氏の研究のいま一つの方向は騒音の影響とその防止である。この研究は発育過程にある胎児あるいは乳幼児・学童に及ぼす騒音の蓄積的影響を明らかにして、その防止技術を追求し、都市計画上有効な示唆を与えようというものである。これらの業績はユニークなものとして高く評価されている。

△松本隆一▽

藤四一に決定した。

第6回井植文化賞社会福祉部門

在宅福祉を実践する 神戸大学看護ボランティア

選考委員

服部
野上
津田

正
文
夫
元

〈大阪府立大学社会福祉学部教授〉
〈兵庫県社会福祉協議会
社会福祉情報センター所長〉
〈神戸新聞社社会部長〉



地域の老人を招いて弁当パーティの試み

昭和四十三年、看護婦とその卵である看護学生の師弟トリオで誕生した神大看護ボランティア・グループは、神戸大学医学部付属病院を中心に愛の輪を広げ、以後十四年、看護婦、保健婦ら十四人が看護の専門技術を生かして在宅の寝たきり老人、重度障害児・者らの訪問看護に活躍している。

中心になっているのは高林澄子・神戸大学医学部付属病院看護婦長(四三)。経済優先の高度成長時代に「看護技術こそは将来の社会資源」と高齢化社会を先取りし、医療と福祉をつなぐボランティア実践活動に率先、献身とともに、グループの輪を広げた。

現在、中央区を中心に兵庫、東灘区内で六人の寝たきりの独居老

人、二人の障害者を週二、三回、訪問看護している。さらに四年前にこの運動に共感したキック(神戸新聞情報センター)の主婦らがボランティア・グループ神寿会(益田公子代表ら六人)を結成するとタイアップを図り、看護婦・主婦のコンビでリハビリ、看護から洗たく、掃除、入浴、身の回りの世話など活動の幅を広げている。

このほか年一回の老人野外パーティーはじめ市民を対象にしたシンボジウム、毎月のグループ学習会など活動は活発。全員が手弁当で交通費も自弁。リーダーは講演、原稿料を積み立てて介護用具を購入するなど、「在宅福祉」を実践するグループと高い評価を集めている。

△津田元△

●選考経過

候補にあがつたのは「希望の家」(万代房子)、「薬害・医療被害情報センター」、「兵庫県腎友会」、看護と福祉の橋渡しとして貢献した長倉昭美、「神戸東部地域入浴サービス実施委員会」(ふれあいの会)、「川口重義会長」、「誕生日ありがとう運動」の藤本隆、「神戸大学看護ボランティア」、「精薄者育成会みどり会」の笹倉二郎、「県精薄者育成会」の田中義徳、灘神戸生協文化事業部、希望の家歯科診療所を開設して身障者の歯科治療を続ける石田鐵男、子ども会活動の異幸一などの各団体、個人である。

それぞれ地域の中で活動実績をつみ重ねているだけに、どこが受賞してもおかしくないという感想が選考委員の間から出されたが、神戸市が今年度入浴サービス公費制度を組む引き金となつた「神戸東部地域入浴サービス実施委員会」。市民運動を全国に広げ、啓発映画、図書づくりにも取り組む「誕生日ありがとう運動」。専門技術を生かして在宅独居、障害老人への介護訪問を続ける「神戸大学看護ボランティア」。

以上の3グループに絞られ、活動年数、過去の表彰歴などを勘案した結果、「神戸大学看護ボランティア」の受賞が決定した。

第6回井植文化賞地域活動部門

神戸のオピニオンリーダー 月刊神戸っ子

選考委員

一谷定之丞
今井仙三
長島晴雄

〈園田学園理事長〉

〈丸山地区文化防犯協議会会長〉

〈神戸新聞社主筆〉



第11回月刊神戸っ子ブルーメール賞授賞式(1982.4.8)

●選考経過

1 54

「大屋町の町づくり」と「園田学園」が、今年も話題となつた。「大屋町の町づくり」は、いわば蓄の状態であり、地域全体が自覚を深め、根からの活動として一丸となる時期が近いであろうこと、しかしながら、何かもう一步、この賞の理念にかなう意欲的な活動を期待したい。

尼崎市という繁雑な地域で、公開講座や運動場の解放など、積極的な地域住民との連携活動を続けてきた園田学園は、その業績を考えて受賞資格は十分といえる。

第6回目を迎える本年、「地域づくりの難しい都市において、ブルーメール文化賞の設定、神戸文学賞、神戸女流文学賞などを設定、地元の人材育成に尽力。また20年にわたる神戸のオピニオンリーダーとして、常にこれからの方針を示してきた」ということで、「月刊神戸っ子」の活動が評価され、選考委員の全員一致で受賞が決められた。

他に、ユニオンチャーチのユニーティハウス、関西タイムアワトなど、神戸に入港する入国外国人のためのコミュニケーションの場を提供、日本に馴染むための架け橋的な地域活動が意外と見過されている点などが指摘された。

「月刊神戸っ子」(小泉康夫編集長)は本年3月で創刊21周年を迎えた。神戸という一地域で、20年以上出版活動を持続すること自体意義のあることだが、月刊神戸っ子が、今回の第7回井植文化賞の受賞となつた理由は、地域の文化を活性化させるため、雑誌発刊を基軸として展開して来た一連の活動が高く評価されたからである。

昭和46年、創刊10周年を機に文化賞「ブルーメール(青い海)賞」が設定された。これは、地域社会の中から世界に通ずる文化を育むため文学、音楽、美術、古典芸能の四部門にわたり前年度に顕著な活動の認められる新人を顕彰するもので、第7回(昭53)からは、ファッショントーク・神戸を推進する

△長島晴雄

報道出版部門は前回に統いて二本の受賞となつた。

第6回井植文化賞報道出版部門
高齢者の生きがいを創造
“兵庫県高齢者
放送大学ラジオ講座”
選考委員
松井 政和 〈ラジオ関西株式会社専務取締役〉
滝川 信宏 〈NHK神戸放送局長〉
長島 晴雄 〈神戸新聞社主筆〉



兵庫県いなみ学園での研修会

本の受賞となつた。話題としては、ラジオ関西・兵庫の百人（県下在住者の声のライブラリー）、神戸新聞出版センター・「のじぎく文庫」、朝日新聞社神戸支局・「兵庫合衆国」、サンケイ新聞社神戸支局・「こうべの女」、さらに今井林太郎監修

「兵庫県史」（全5巻）などがあつた。しかし、現在進行中のものや、行政側からの出版物を対象とすると範囲が広すぎるなどの理由から今回見送りとなつた。

日本経済新聞神戸支社の「六甲海へ翔ぶ」は、ポートアイランド誕生の顛末を記録したものだがその経緯を分りやすく説明したことが買われた。「神戸の中堅150社」は、神戸の産業を“具体的”に見せ、神戸を理解する上でも有効であり、それが地元へもプラスとなった点が評価され、まさに日経らしい仕事という点で意見が一致した。

「兵庫県高齢者放送大学」は、評議の高かった「人間学講座」を引き継いだもので、すでに放送文化基金から表彰され、放送界では高く評価されている。高齢化社会が問題とされている昨今、時宜を得た企画もあり、これも全員一致で受賞となつた。

「兵庫県高齢者放送大学ラジオ講座」（ラジオ関西・毎土曜日・午前6時30分～7時放送）は、財団法人・兵庫県高齢者生きがい創造協会（理事長・坂井時忠兵庫県知事が運営する高齢者放送大学の、ラジオを通じての講義である。この放送大学は、5年前の昭和52年4月、坂井知事の肝入りで発足し、老人大学に通学できない高齢者のため、生涯教育の機会と場を提供しようという当初の設立趣旨を超えて、大きく成長した。これはラジオ講座のカリキュラムを編成する際、ラジオの特性を生かした企画をたてたことによるものである。「家庭の中の人間関係」や「宗教と人生」など、老人の内面に迫るテーマがアピールした。放送大

学校の57年度の学生数は、一、三一〇名、兵庫県外の学生もいる。老人会のリーダーもいれば、寝たきりの病人もいる。そして、これらの高齢者たちは、このラジオ講座を通じて知り合い、出会いと連帯の輪を広げている。

高齢化社会が進む中で、老人を対象にしたラジオによる生涯教育の試みは一層重要となり、その中の「兵庫県高齢者放送大学ラジオ講座」は、多くの高齢者のための人生学習の場であり、心の交流を図る生きがい創造の場といえるであろう。

なお、このラジオ講座は55年度の放送文化基金から表彰を受け、中央でも高く評価されている。

△松井政和

明日の神戸に活力を与える

日経神戸支社“神戸の中堅150社”

選考委員

松井政和 〈ラジオ関西株専務取締役〉
 滝川信宏 〈NHK神戸放送局長〉
 長島晴雄 〈神戸新聞社主筆〉



「神戸の中堅150社」(表紙)と「六甲 海へ翔ぶ」

日本経済新聞神戸支社は、二年九月「神戸の中堅150社」を発刊したが、これは地元産業界自治体、学界などに大きな反響を呼び、沈滯気味の神戸産業振興のための起爆剤として、話題を集めた。このため五十四年三月、更に改訂増補した「神戸の中堅150社」を続刊したところ、一層時宜にかなない、評価も定まつた。五十七年二月、会社数もふやして、「神戸の中堅150社」として続刊したが、神戸や姫路で、ベストセラー一位を長く維持するほどの売れ行きとなつた。

このことは、神戸が中堅企業の宝庫であるにもかかわらず、また低成長経済下で、企業形態も量か

ら質へと転換を余儀なくされていにもかかわらず、この種のまとまつた紹介がこれまで欠けていたためと考えられる。

本書に掲載されている企業は、機械、電機、金属、食品、繊維、金融などの他に、菓子、パン、酒造、ファッショング、皮革、海運、レジャーなど、当然のことながら

神戸らしい企業を積極的に取り上げているのが目立つが、何よりも一般の「会社要覧」などにみられない、手づくりの暖かみのようないが、神戸や姫路で、ベストセラー一位を長く維持するほどの売れ行きとなつた。

このことは、神戸が中堅企業の宝庫であるにもかかわらず、また低成長経済下で、企業形態も量か

め細かくデーターを記しており、特に社長略歴欄は、会社を個性的に知る上でも、大変役立つ試みだと思う。

多数の中堅企業から、一五〇社を選び出すのは苦労のあったところだと思うが、日本経済新聞、日経産業新聞、日経流通新聞の各記者の日頃の取材活動の中から、業界での指導性、経営戦略の特異性などに重点をおいてピックアップしており、妥当なところだ。

日本経済新聞神戸支社では、昨年のポートピア開催に先立ち、ポートアーランドの埋立地事業の全貌を紹介した「六甲海へ翔ぶ」

を、五十六年三月に出版している。これも全国的に好評を得て、ポートピアの観客増に一役買ったものと思われるが、全国紙の地方支社のこうした一連の活発な出版報道活動は、今後の全国紙の地方文化への貢献という面からも注目される。

ポートアーランド、コンベンション都市づくり、神戸沖新空港など、今後の神戸市の抱える問題は山積している。こうした時期に、出版された「神戸の中堅150社」は、中堅企業、ひいては明日の神戸経済界に活力を与えるものであり、その功を讃えるとともに努力を多としたい。

こんにちは赤ちゃん



太田秀穂ちゃん/須磨区白川台

完全看護★冷暖房完備★病院前公共駐車場有

芦屋 柿沼産婦人科

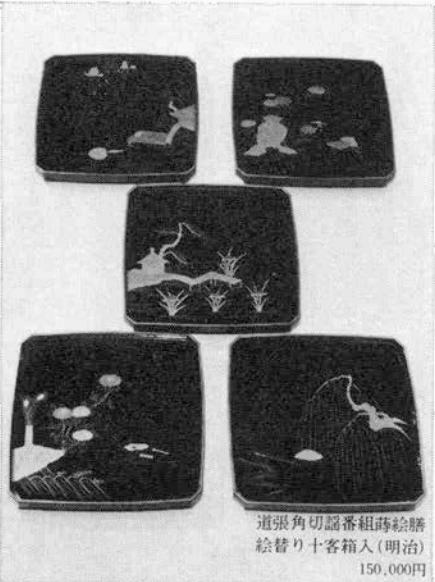


芦屋市大根町1番18号

芦屋保健所東隣

芦屋 (0797) 31-1234 代表

刀劍 古美術



道張角切詰番組薄絵膳
絵替り十客箱入(明治)
150,000円

毎月20日 無料鑑定
研磨、白サヤ、その他工作
お支払いに便利なローンをご利用下さい。

兵庫県美術刀剣商組合事務局

刀剣の **元町美術**

神戸市中央区元町通6丁目6番3号

三越百貨店東へ150m 商店街山側

TEL 078-351-0081

市民生活を向上させる

神戸沖新空港

△座談会出席者▽

柳瀬 俊郎 ▽(神戸市長室長)

鬼塚 喜八郎 ▽(兵庫県経営者協会副会長)

神戸経済同業者協会総務委員会
神商議会議事長・神戸青年会議所理事長

西村 隆治 ▽(神戸青年会議所理事長)

——このほど神戸市側から「神戸沖新空港計画試案」が発表され、それを受けて六月二十五日に、神戸商工会議所など神戸の経済六団体が中心となって「神戸沖空港推進協議会」が設立されました。いよいよ神戸沖空港の建設に向けて官民が一体となって動き出したわけです。そこで今回は、神戸沖新空港の概要、経済界としての取り組みなどについてお話をお願ひいたします。

官民一体となって神戸沖新空港建設を推進

柳瀬 五月二十一日に神戸市会は、「関西新国際空港の早期建設に関する意見書」を議決し、市としては実現可能な適地に建設するための「新空港計画試案」をまとめたわけです。この度の「神戸試案」が、なぜ今の時点で出されたかというと、昭和四十七年に市議会が反対決議をしたわけで、当時はいわゆる「公害問題」が世論を占めていた。十年後の現在、公害がすっかり解決されたわけではないが、かなり軽減され善処されてきて、相当の改善がみられています。ただ、今の段階で議会では基本的

北川 純

△(神戸貿易協会副会長貿易部会長)

石丸 鐵太郎

△(神戸青年会議所空港問題実行委員長)

にはまだ肯定されておらず、神戸沖も例外でないという前提の中で空港適地を捜そうということですが、神戸市長はさまざまな点から考えた結果、やはり神戸沖が最も適すると判断したというわけです。

その青写真は、「意見書」の主旨に沿った上で、利便性の高い、お金のかからない、国に依存せず地域に密着した効率のよい空港を、描いたわけです。第一に飛行場を取り巻くいろんな環境上の問題として、まず騒音公害が誰の頭にも浮かぶのですが、ポートアイランド沖約四キロに空港島を造り、飛行経路をすべて海上とした。さらに時代の流れとして、飛行機自体がボーイング707からボーイング747と改良されて騒音が15~16%と画期的に軽減されている。また、海への配慮として、漁業や船の航路に支障がないように空港島への輸送手段として沈埋トンネルを考えたこと。これは、昨年のポートピアで賑わった後のポートアイランドを上手に生かすことにもなる、神戸市にはポートピアの成功で学んだ島造りの技術も即戦力となるわけです。

第二に、神戸市百三十万人の人口のうち、市営地下鉄

とニュータウン開発によって、現在、どんどんと人が西北神地へと動いている、そのためにいわゆるスプローラ現象ですね、都市がカラッポ化していっている。ということは、神戸の都市活力がしだいに沈滞していく不安があるわけで、神戸の都市をイキイキさせ、賑わいを取り戻し活性化させる発想がどうしても必要になってくる。

現在世界一のコンテナ港である神戸も、輸送の形態がやがては飛行機、空港にとってかわるのは目に見えており、そうなれば、空港のない都市はどんどんさびれていく時代がもう来ている。都市の構造そのものを強化し、活性化する準備は急務といつてもおかしくないわけですね。

第三には、関西の航空機需要を考えると、伊丹空港は現状で満杯であり、だから「関西新国際空港」が取り沙汰されているのですが、伊丹では非常にロスが多い。京阪神で最も価値の高い場所、利便性という点でも「神戸沖」が優先されるということです。

鬼塚 ポートピア'81後の神戸ということを考えると、「コンベンション・シティ構想」があり、85年の「ユニバーサード神戸大会」に向けての準備が、昨年から着々と進められている。しかし、他方、国際イベントなどのインターナショナルな水準で事が行なわれるというのに、一体、人の輸送はどうなるのか、という点が気がかりですね。経済界に限らず、文化面でも、すべて根底は人の流れにある。関西の地盤沈下が言われて久しいが、人の流れと情報が東京に集中すぎていますね。伊丹空港はパンク状態だし、海外へ出るには成田まで行かないとい

けない。実に不便です。

そうしたことは、神戸に限らず関西のあらゆる層の人々が十分肌で感じ、もう痛感しているわけで、これは経済界のみの問題ではないですね。また、いくら経済界だけががんばってもそうやすやすと実るものではない。今回、「新空港計画試案」に辿りつくまでの経過としては、以前から市議会の方へ決議の再検討を依頼していく、まさに機運が熟したという感で五月に「意見書」が出た。

ただ単に神戸沖に空港を造るというものでなく、独創性ある「新空港案」が、市長から正式に提出された。さらに、神戸商工会議所、神戸経済同友会、兵庫県経営者協会、神戸青年会議所、神戸貿易協会、神戸船主会の経済団体に加えて、神戸を代表する四企業、神戸製鋼、川崎重工、川崎製鉄、太陽神戸銀行が一致協力して、この試案をどう推し進めていくかというための「神戸沖空港推進協議会」が生まれた。神戸沖空港の早期実現をめざして、積極的に取り組んでいこうと決まったわけです。今後、他の団体もどしどし参加していただき、より具体的に進めていきたいですね。

そういう経過があり、現在、スタートをしたばかりであって、まだまだ考えていかなければならない点が山積みされている。神戸沖案については、神戸とか大阪とか一地域の問題としてスケールの小さい狭い目で見るのでなく、京阪神——関西地区水準のものでなければならない。関西の地盤沈下、経済界の沈滞ムードが、今になって一つの緊迫感となってきたわけで、神戸市がいくらコンベンション都市をめざして進んでいても、何とい

柳瀬 俊郎さん

鬼塚喜八郎さん

北川 敏さん

西村 隆治さん

石丸謙太郎



つても世界各国から関西へ人の流れが向かわない限りは、国際会議をやる、国際見本市をやる、いくらバイヤーを誘致するといつてもこれは無理な話です。やはり、世界のいろんな国々から多くの人々が、直接に、関西へ着港できる設備の整った飛行場がせひとも必要です。

一方、泉州沖案では、非常に高額の費用がかかり、工期が長期であるなど大きな困難を抱えており、それをじっと待つおれぬという差し迫った気分が、神戸の経済界にあります。日本は行政改革、財政再建という未曾有の体质改善を迫られている時期でもあり、そこへ神戸沖案が正式に出された。それも、早く安く利便性がよいという3つの画期的な特長を備えている。また、国に依存する限り、とうてい早期実現はないとして、いわゆる第三セクター、地方自治体などの民間の知恵と協力によって行なおうとする点は、すばらしく素晴らしい。もちろん、アクセスの面でも、新幹線はすぐに接続でき、高速道路も鉄道にも費用をかけないでアクセスができるわけで、スピード時代に即応したものと言えます。「神戸沖空港推進協議会」は、関西レベルの地域活性化をはかるため、組織が一丸となって「神戸沖案」を推し進めていこうとしているわけです。

空港はポートアイランドの付加価値を高める

北川 貿易という観点から言えば、2つの次元がある。つまり、一つは神戸沖空港の必要性、もう一つは実現の可能性です。私は昭和二十三年から、ずっと民間貿易に係わってきたのですが「物」をはさんで「人」が相対しているのが貿易の姿で、それをつなぐのが「情報」なわけです。だから国際化情報化時代の現在、飛行場がないことが、関西の貿易が年々の沈下を辿ってきた大きな原因となっている。現在、神戸には貿易商社が千社あり、商品のサンプルを海外へ送り、それを納得していただいて商いが成立するわけで、そのためには例えば、ヨーロッパへは、成田空港を経由して送る現状である限り、こ

ちらは一時間でも早く着いてほしいのに、一日二日のロスが生じてしまう。

貿易商という仕事は、あまり目立たない存在のようと思われがちですが、明治以降の神戸を活発な街に発展させていったのは、もともとは貿易商だったわけです。今でこそ異人館が神戸の観光名物となっているが、異人館に住んだのは貿易商だったし、貿易の原点は神戸から生まれた。というふうに、神戸にはそうしたエネルギーがあつた。ところが飛行場が東京にあり、情報はどうしても東京へ集中していく東高西低型の日本全体における機能のバランスの悪さと、輸出メーカーの営業主体が県外、特に東京に集中している点で、貿易がふるわなくなっています。貿易の復興がなければ、神戸の街の活性化は難しいし、そのためにはどうしても空港が必要です。ポートアイランドの付加価値を百倍千倍に増やしていくことになる。かつて長崎の出島がオランダ、ポルトガルなどの船によって、日本の発展の基礎を築いたように、航空機の時代には、神戸沖の第三の空港島が、西日本にとって大きな役割を果たすことになると思います。

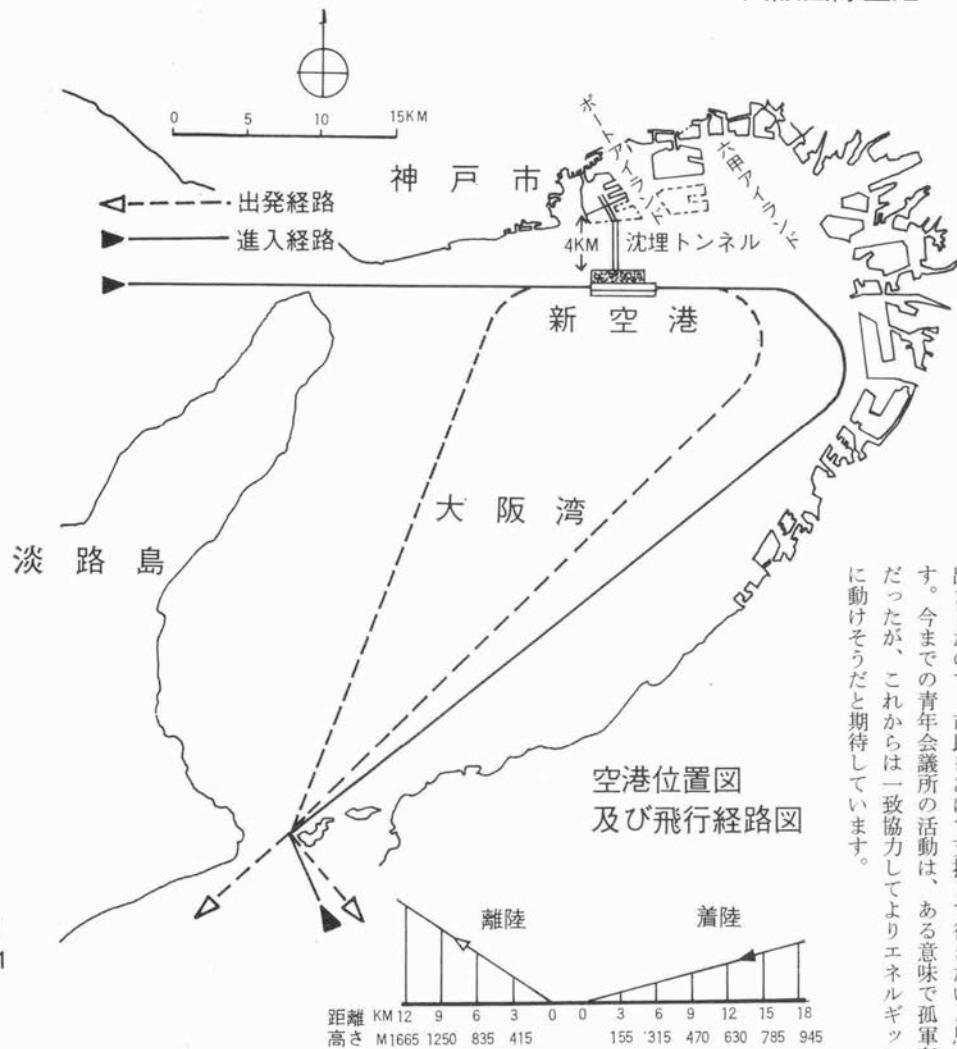
西村 神戸青年会議所は、これまで一貫して、関西新国際空港の神戸誘致を主張し続けてきたわけですが、この五月に市議会の反対決議案がとり下げられ、市長から「新空港計画案」が出て、さらに民間団体が一致協力して「神戸沖空港推進協議会」が発足した。まさに、とんとん拍子に飛び出したという感じを受けています。行政と経済界の合意が急速に進み、今や市民レベルではどこまで賛同をえられるかというところまで来ています。昨年六月にオピニオンリーダー一千二百名に新空港についてのアンケートを取ったところ、条件付賛成を含めると92%にまでなり、改めて市民の皆さんにこちらが考えるよりもすでに素地ができることがわかった。また、昨年九月に出版をした『海から空へ——神戸と関西新国際空港』の出版記念会の際にも五百名以上の人たちに参加してい

ただいて、かなりな線まで理解いただいているのを心強く感じます。

神戸沖試案のフタを開けてみて、一つは、大阪国際空港との調和を下敷にされている、つまり、国際空港ではない点、もう一点は、政府の援助を期待しないという二点で驚きましたが、面白い案だと思います。泉州沖案と

ぶつからない線で非常に意義深い。地方公共体と第三セクターでもって実現への道を切り開こうとする。これは、関西の経済人の系譜をつないでいると思う。名を捨ててもしつかり実をとるという合理的、かつ、国をあてにしないという関西的 精神の江戸時代から受け継いできた伝統的な自力開拓型、独立精神を、神戸沖案に感じるわけですが、いずれにせよ、緻密で本格的な神戸沖空港案が出来ましたので、市民をあげて支持して行きたいと思います。今までの青年会議所の活動は、ある意味で孤軍奮闘だったが、これからは一致協力してよりエネルギーッシュに動けそそぐだと期待しています。

大阪国際空港



空港は一人ひとりの市民生活を向上させる。

石丸 私は、神戸という街を見る時に自分が神戸生まれでない、いわゆる「神戸っ子」でない点で、一長一短があるんです。私の父が大正七、八年頃、神戸に住んでいたことがあって、子どもの頃から神戸のことはよく聞かされていた。ところが、神戸に来てみて父の話とは全然違う、ハイカラな活気を持った国際都市などではないではないか。むしろ、昔は国際的だったと言われたものを残しているだけにすぎないと感じました。例えば、広島市と呉市の例ですが、呉市は空港だったでの海軍士官が海外から文化を持ち込んできて、非常にイキイキしていた。ところが、戦後、軍隊が解散してしまうと同時に、あれほど彩り豊かで栄えていた街が一挙に生彩を失つて沈滞してしまったのです。父の話が印象的だっただけに、やがては神戸もそうなってしまうのではないかという不安があります。

神戸という街が今、どことなくなしくしにあらゆる分野で色あせてきはじめているというのは誰もが感じるところなのに、打開策として出て来たこの構想に、残念ながら一般市民の反応は、あまり打てば響くといったものでない。特に女性の人たちは、水平的に「騒音公害」と、「飛行場ができる私には、関係がない」というふうに受けとめている。騒音はないのだと言つてみても、やはり感情面で捉えてしまつていて、これをどう納得してもらうか、なかなか難しい問題だと思います。

北川 神戸市民三百三十万人の半分は、女性です。一般市民の「関係がない」という意見も、家庭という水準で捉えてみると、実は一人ひとりの家庭をとりしきっている女性の人たちが、今後の関西の浮上がご主人の将来、つまり家庭の事情、さらに今の子どもたちの将来にどう関係していくか、ということから考えてほしいと私は思いますね。

鬼塚 都市型住民の持つている個人主義的な一面ですね。しかしながら、つまるところは地域住民のコンセン

サスがなければ神戸はイキイキとしない。市民の十全な合意とパックアップがあつてこそ神戸沖空港です。都市の活性化がなければ、結局、個人の所得にも影響を及ぼします。孫子の兵法には「天の機、地の利、人の和」ということが言われていますが、天の機は、国家が行政改革を進める一方、「地方の時代」であり、地方それぞれが持てる力を結集している。地の利は利便性です。最後に、人の和ですがこれは一般市民の理解が先行する。最終的には世論の同意を得ないといけないのでですが、世論が活発に動く時期もそう遠くないのではないかという気がします。

石丸 新空港について、中途半端な情報や知識で批判しない雰囲気づくりが、いちばん大事です。例えば、神戸に空港を造るというと、即座に騒音公害となる。実際に市街地の上空には飛行機は飛ばないし、経路は海上にあり、それを十分配慮した上で試案だから、騒音もないのですが。

鬼塚 やはり実現については、市民の一人ひとりから成る世論が決断していくべきです。経済界、政界はそれによつて動くもので、この点が重要です。飛行場なしに都市の発展はありえないという事実を、いよいよ市民の皆さんに問うという時機がきたと考へています。

西村 神戸青年会議所としては、各婦人団体に対して懇談できる場を設けて、飛行場建設に関しての事実を正確に認識していただき、騒音や飛行機そのものの改良の実態を科学的な意味でも理解してもらう、こうした輪を一步一步広げていくつもりです。

柳瀬 神戸市民一人ひとりに、それぞれの市民生活がどういう形でなり立つてあるかを考えていただくと、産業の人たちが、今後の関西の浮上がご主人の将来、つまり家庭の事情、さらには今の子どもたちの将来にどう関係していくか、ということから考えてほしいと私は思いますね。神戸沖空港建設は市民一人ひとりに直接関わつて来る問題だということを知つていただきたいと思います。

(ブランドウプランにて)

田崎真珠株

取締役社長 田崎俊作
神戸市中央区旗塚通6-3-10
TEL (078) 231-3321

オールスタイル株

取締役社長 川上勉
神戸市中央区伊藤町121
TEL (078) 321-2111

カネボウベルエイシー株

取締役社長 稲岡必三
神戸市中央区三宮町1丁目9-1-807
センター・プラザ東館8F
TEL (078) 392-2101

佛ベニヤ

取締役社長 松谷富士男
神戸市中央区三宮町1丁目10-1
TEL (078) 332-3155

モロゾフ株

取締役社長 萩野友太郎
神戸市東灘区御影本町6丁目11番19号
TEL (078) 851-1594



キャンペーン「国際文化都市神戸を考える」の
企画は以上5社の提供によるものです。



自走式立体モータープール

ビジネスに！
ショッピングに！
ご利用ください



- 収容台数 300台
 - 月極駐車可
 - 年中無休
- (8:00AM~11:00PM)



磯上モータープール (神戸国際会館前) TEL (078) 251-7873

経済ポケット
ジャーナル



★市民病院跡地は

ダイエーがホテルを建設

新幹線新神戸駅前の中央市民病院跡地はダイエーに約120億円で譲り渡されることが決定。ダイエーは新会社を設立し、ホテルを開業する。この土地は、神戸市がポートアイランドに移転した中央市民病院の跡



李元儿室成予相國

地を「多目的機能を備えた
都市型ホテルを、ユニバーサル
シティードが神戸で開かれる

60年までに開業すること」を条件に公募していたもので、今年1月に開かれた説明会では41社が参加したが、ダイエー1社だけが申しこんでいた。

★神戸須磨北RC誕生

針で、第一期工事として約300億円をかけ、ホテル棟を建設、60年春、遅くとも62年に開業の予定、アミユーズメント棟は引き続き第2期工事として約100億円かけて建設される。

去る6月27日、ポートア
イランドの神戸国際交流会
館メインホールで、神戸須
磨北ロータリークラブの国
際ロータリー加盟の認証状



★KOBÉオフィスレディ★

菅沼 真美さん (25)

その後神戸国際展示場に会場を移して祝宴。第268地区を中心全国各地のロータリアン約600人がお祝いにかけつけた。

この神戸須磨北RC(佐野年修会長・会員26名)は平均年令40才という日本一若いRCである。

その後神戸国際展示場に会場を移して祝宴。第268地区を中心全国各地のロータリアン約600人がお祝いにかけつけた。

この神戸須磨北RC(佐野年修会長・会員26名)は平均年令40才という日本一若いRCである。

光田顕司氏の取締役会長就任に伴い、新社長に専務取締役の藤綱亮三氏が就任した。会長・光田顕司、社長・藤綱亮三、常務・長島晴三、取締役・三木良一、長谷谷正、久岐也、荒川克也、佐野豊、大田敏雄、★デイリースボーツ社人事
会長・光田顕司、社長・三木良一、専務・稻元寛介、常務・中尾昇司、取締役・本多宗之助、藤綱亮三、

A wide-angle photograph of a formal outdoor ceremony. In the foreground, a large crowd of spectators is seated in rows. In the middle ground, a large group of people in dark uniforms with peaked caps are standing in formation. Behind them, a stage is visible with a large, ornate banner at the top. The banner features the text "THE 100TH ANNIVERSARY OF THE CHINESE ARMY" and a circular emblem in the center. The background shows a clear sky and some trees.

★サンTV新社長は小笠原聰、専務・竹谷・和氣、取締役・井上正之、三木良一、光顧司・山本敏雄、柳瀬寅郎、加古彥、野草平十郎、吉田豊信、作田監査役・大橋寅次、安好匠

伝達式が行なわれ、第2668地区55番目のRCが誕生しました。坂本智元第268地区がバナーから認証状が伝達された式典に引き続いて記念講演を開き、邱永漢氏による「80年代を先取りする利殖戦略」を勉強。

ラブで、その活動が注目
されているが、新しい街づ
りが進んでいる地域だけ
「いかに地域に密着した
活動をしていくかにウェイ
を置く」(木曾保恵一氏)と奉
活動に取り組み、この誕
記念事業のひとつとして

神戸のいいイメージを生かそう

——神戸百店会は、小誌を事務局として18年前に結成されました。メンバーは当初から若干の入れ替わりはありましたが、神戸を代表する専門店グループとして今日まで会がつづいております。参加各店の動きは、小誌が毎月掲載しております「神戸百店会だより」などを通して、一般の方々へもアピールされています。しかししながら会全体としての活動は、これまでのところあまり行われて来なかつたというのも実情です。そこで今日は、神戸百店会のメンバーのうち、主に若手の方々にお集りいた



下村 光治 さん

だき、"神戸の顔"としての神戸百店会の今後の活性化を図るためにご意見をいただきたいと思います。



安達 昭三 さん

時のことを見ているのは、この中では私だけでしょうね。当初は専門店が集つて、月刊神戸っ子を育てようという後援会的な意味合いがあったように思います。

活動としては、今、司会者が言われたように親睦会が何回かあつただけですね。最近では、ポートピア'81(神戸博)の前に博覧会協会事務局の渡辺さんにお願いをして講演会を開きましたね。

下村 おっしゃるよう神戸百店会は専門店の集りですが、どうもそれだけで、共通の目的といったものがない。それが弱いと思いますね。会を活性化させるためにはやはり大きな目的が必要ではない



KOBEのいいイメージを 神戸百店会で…

・出席者

安達 昭三
(フナキヤ社長)
柴田 啓嗣
(柴田商事株取締役)
吉岡 達彦
(株ヨシオカ専務)

下村 光治
(神戸月堂社長)
大牧 晴男
(株リザ専務)



かと思います。

安達 ただ、メンバー各店の規模がまちまちだし、一緒に共通の事業をやるということは難しいと思

いますね。

吉岡 全店が集つてやるのは、

広告宣伝ぐらいかも分りませんね

私の店は大丸前中央商店街にある

のですが、そこですらまとまって何かをやるということはないですね。

大牧 銀座百店会もそうなんです

が、全国のどこへ行つても、その土地その土地に名店と呼ばれるものが明確にあると、外から来た人

に安心感を与えると思いますね。

だから、神戸に神戸百店会あり、

ということを強力にアピールでき

る方法を考えるべきです。幸いに

神戸のイメージはポートピア⁸¹以

後、ずい分とよくなつて来ています。ですから、その神戸のどこに

どういう名店があるかを対外的に

ピ・アールすることは必要ですね。大変な事業になると思います

がぜひともやらないといけない。

柴田 私のところは神戸と大阪に

店があるので、地方から来られた方に、神戸にはまとまつた名店会はないのか、とよく聞かれますね。やはり、神戸という町には名店会のようなものが育つ要素があると思っている人が多いようですね。三年前から婦人ブレタのシ

ヨーをはじめましたが、大阪ではもう一つなんですが、神戸でやり



吉岡 達彦さん



大牧 晴男さん



柴田 啓嗣さん

ライフスタイルを提案する百店会

ますと、イメージがいいんじよ

うね、お客さまが多勢お見えにな

りますね。ですから、いろんな展

示会やショーを神戸でやると、神

戸という町のもつ付加価値が加わ

ります、イメージがいいんじよ

うね、お客さまが多勢お見えにな

りますね。ですから、いろんな展

示会やショーを神戸でやると、神

戸という町のもつ付加価値が加わ

ります、イメージがいいんじよ

うね、お客さまが多勢お見えにな

りますね。ですから、いろんな展

示会やショーを神戸でやると、神

戸以外のお客さまが多くなつて来ています。

柴田 神戸百店会のメンバーは、

そういう意味では恵まれています

また、各店毎に活発な活動をされ

ている。しかし、全体で何かをや

るということになるとやはり時間

をかけて取組む必要があります。

下村 そうですね。いずれにして

も今後とも神戸百店会を維持、発

展させるためには、組織をしっかりとさせるべきですが、何々委員

会といふように、委員会を設けて

活動を始めるのがいいのではな

いでしょうか。一度、懇親会を開いて

てもいいでしようね。

安達 会の活動を前向きにすすめ

て行くためには、方法として、ま

ず理事を決め、さらに分科会をつ

くつて、イベントをやるグループ、研修会をやるグループ、などに分

け、会員の規模に応じた活動を開すべきでしようね。そういう手づきが必要だと思います。

大牧 委員会や分科会方式をとる

ことは、方法としてはいいと思う

のですが、ただ、運営をうまくや

らないといけない。単に親睦だけ

というのでは外へ訴える力は弱いですね。神戸百店会には神戸の各業界の専門店が集まっているのですから、"メイド・イン・コウベ"のライフスタイルをグループとして提案し、対外的にアピールして行くということが何よりも必要であります。神戸という町、神戸の専門店は、それ自体にアピールで行きたいものをもっています。しかし、いわゆる神戸のエスプリが実るまでには、時間がかかります。柴田 確かにそうでしょうね。対外的にアピールするとともに、やはり地元の人、神戸の人々にアピールすることも大切です。たとえば、毎年春に行われています「世界の酒祭り」。例年、千人ほどの方が出席されているのですが、そこで神戸百店会の存在を知つてもらうために、何らかのビー・アルをする。まず、神戸百店会といふものを神戸の市民の中に浸透させたいですね。イベントを考える必要があります。それから、先ほどお話しに出ていました委員会をつくつて行く、という方法が考えられるのではないかと思います。

大牧 横浜の元町では、元町バザールという催しをやってよく賑っています。神戸でも、たとえば、ファッショニ・フェスティバルのようなイベントを考え、賑わいをつくり出さないといけない。それ

によって外から人を神戸へ吸引する。そういうことを神戸百店会が催すことができればいいですね。人が神戸に集まるような大きな催しが欲しいと思います。

下村 町の賑わいということでは神戸の町は夜が早い。(笑) 商店街でも、もう少し遅くまで店を開けるとか、せめて、ウインドウショッピングぐらいはできるようにして欲しいですね。まず、神戸百店会のメンバーからやり始めますか。(笑) そういうことが、町の賑わいにつながって来る。

神戸百店会の活性化をめざす

安達 神戸の大きなイベントというと、神戸まつりがあるのですが、神戸という町は、日本古来の祭りと結びつけてイベントを行うのに向かないと思われているようですが、そうでもないでしょうね。

町に賑わいをつくり出すためには次々とイベントを開くことですよ。

吉岡 神戸が最近、ますます全国的に名を知られるようになつて来るのは、いろいろな雑誌に紹介されているからですね。そういう雑誌によつて神戸へ来る人は、大てい若い人が多い。これからは、そういう若い人を抜きにしては、われわれの商売も考えられなくなつていると思うんです。だから、神

戸百店会としても、そういった年齢層へもアピールすることを真剣に考えないといけないでしょうね。

安達 神戸百店会が結成されて18年たつた今、もう一度、見直すということはいいことだと思います。月刊神戸っ子の本文中に神戸百店会の名簿と地図がはさみ込まれていますね。それに対して一月千円の会費を払っているのですがどうも意識としては"名刺代"という感じがあるみたいですね。今回テーマである神戸百店会の活性化ということになると、現在の会費だけではとても運営できないと思います。これは内部的な話なんですが……。しかし、お話に出ていたように今、神戸はいろいろな面で注目をされています。神戸百店会のような専門店のグループのあることが、町に活力を与えることになります。最初に言いましたように、私や今日お集りのみなさんの先代の方は、「月刊神戸っ子」の応援団という意味で神戸百店会をスタートさせたのですが、今、新たにどう再出発するかをメンバー一人ひとりが考えるべきだと思います。

——ありがとうございました。今日のお話をもとにして、これらの活動の具体的なプログラムを進めさせていただきたいと思います。(ブランドウプランにて)

Won't you make it, Spaghetti.

〔若者のアイドル〕(2人前)

フランクフルト: 1½本
Boil de ベーコン: 5枚
ピーマン: 2個
しめじ: ½個
椎茸: 4個
スパゲティ: 1袋(壁の穴オリジナル)

- ①フランクフルトは切ったもの、ベーコンも3つほどに切ったものをフライパンで炒める。
- ②そこに残りの野菜をすべて入れる。
- ③全体に火が通ったら白ワインをふり入れ、ワインもしにする。
- ④茹であがった麺を③の中に入れ、しょうゆ、塩で味付をする。

(イタリアの諺にいわく、「食べているときは年をとらない」そうナ。
あなたも早速チャレンジ。若返ること間違いナシ?か。)

8/21 京都河原町BAL横、ヨッチャンビル(B1)に、壁の穴いよいよオープン。
是非お越し下さいませ。

〔たらこ〕(2人前)

たらこ: 1つ
(明太子でもよい)
無塩バター: 20g
日本酒: 小さじ2杯
スパゲティ: 1袋(壁の穴オリジナル)

- ①たらこは包丁で開いて中身だけを出します。
- ②日本酒で①をのばす。
- ③たらことバターを合わせる。
- ④茹であがった麺を③の中に入れ、塩、こしょうで味付をして、ませ合わせる。
- ⑤器に盛り、きざみ海苔をかけて、でき上り。

東京・渋谷 スパゲティ専門店



壁の穴

〈三宮店〉

中央区三宮町1-5サンロイヤル神戸10F(さんプラザ)

TEL 078-332-4551

営業時間11AM~9PM 第1・3月曜休